

# グループホームに対する意識調査 【WEB調査】 結果報告書

---

2017.10

特定非営利活動法人ヤベツの家

# I. 調查概要

---

# 調査概要

## 1. 調査目的

静岡県駿東田方郡に在住している方の知的障害のある方が住むグループホームに対する意識を明らかにし、今後の地域福祉推進に向けた基礎資料とする。

## 2. 調査方法

インターネットアンケートによる回答者記入式（調査会社パネル利用）

## 3. 調査対象

静岡県障害保健福祉圏域における駿東田方に在住する  
20代～60代男女

静岡県障害保健福祉圏域（駿東田方）：沼津市、三島市、御殿場市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町、小山町

## 4. 調査期間

平成29年9月6日～13日

## 5. 設計調査数・有効分析数

設計調査数：250サンプル

有効分析数：246サンプル

		20代	30代	40代	50代	60代	計
設計調査数	男性	25	25	25	25	25	125
	女性	25	25	25	25	25	125
	計	50	50	50	50	50	250
有効分析数	男性	16	25	25	28	27	314
	女性	26	25	25	24	25	310
	計	42	50	50	52	52	246 (S)

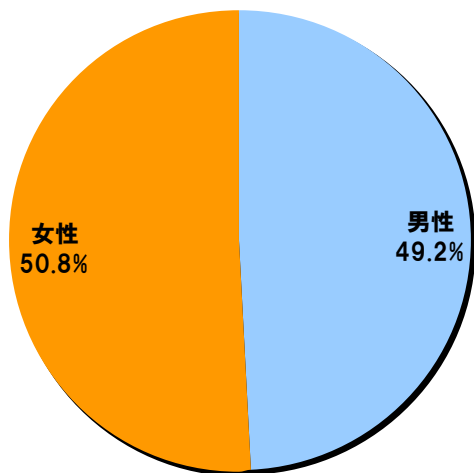
※障害の表記につきまして、「障害」、「障碍」、「障がい」等ありますが、紙面の関係上、「障害」と統一したことをご了承ください。

## Ⅱ. 対象者プロフィール

---

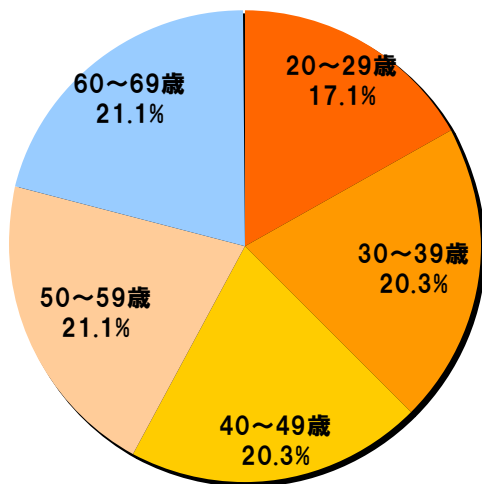
# 対象者プロフィール

## ■ F 1. 性別



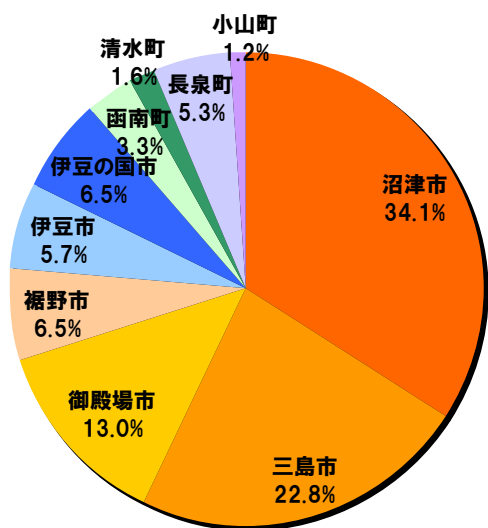
(n= 246)

## ■ F 2. 年代



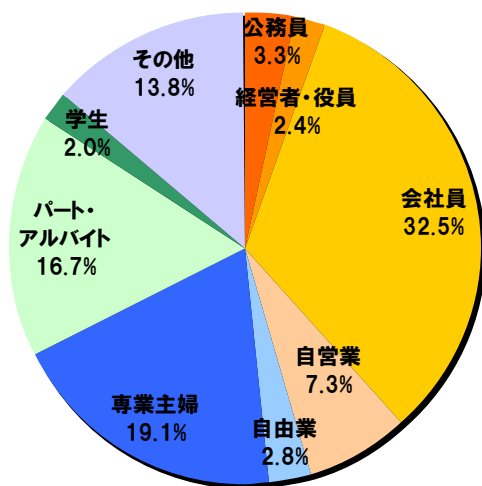
(n= 246)

## ■ Q 1. 居住地



(n= 246)

## ■ Q 2. 職業



(n= 246)

## Ⅲ. 調查結果要約

---

## 障害者との関与・イメージ

- ・障害者との関与は「身近にいたことはない」が68.7%で突出。  
身近にいる障害の方は、「身体障害」（67.5%）、「知的障害」（37.7%）、「精神障害」（19.5%）の順である。
- ・知的障害者に対するイメージ（純粹想起）において、「（親・本人が）大変そう」「接し方が難しい・わからない」といった意見が上位。
- ・選択肢を提示した知的障害者に対するイメージにおいて、ポジティブは「純粹な」「個性的」「才能がある」が上位。  
ネガティブは「不自由なことを抱えている」「コミュニケーションが取れない」「周りの人に合わせるができない」「何を考えているからわからない」が上位。

**知的障害者に対するイメージは、「大変さ」「不自由さ」や「コミュニケーションの難しさ」が強く想起されている。**

**一方で、「純粹」「個性的」「才能がある」等のポジティブなイメージも想起され、「怖い」「うるさい」といったマイナスイメージは強くない。**

## グループホームについて

- ・グループホーム認知率は73.2%。
- ・「高齢者の方が住んでいるグループホーム」を8割が知っている。
- ・グループホームのイメージ（純粹想起）は「お互いに助け合って暮らす」「職員の負担が大きい・大変そう」「集団生活／共同生活」が上位。
- ・選択肢を提示したグループホームのイメージにおいて、ポジティブは「家族等が気軽に来られる」「自立している」「安全な」が上位。  
ネガティブでは「施設と変わらない」「お金がかかる」が上位。
- ・グループホーム建設に対して、賛成計35.8%、反対計は8.5%に留まるものの、「どちらともいえない」が4割台である。  
障害者との関与あり層やグループホーム認知層は賛成計が4割を超える。
- ・グループホーム建設に対する理由は、「よくわからない／出来てみないとわからない」が突出。

**グループホーム（特に高齢者）の認知率は高い。**

**グループホーム建設に対して反対は1割未満に留まるものの、どちらともいえないが4割台。「よくわからない」といった意見が多数を占める。**

## 障害について

- ・『障害のある人を街中で見かける』（51.2%）、『障害を持っていても、住む場所を選択する自由があると思う』（63.8%）、『学校でもっと障害について教える必要性を感じる』（58.1%）は、半数以上がそう思うと回答する項目である。
- ・一方、『機会があれば障害のある人と関わりたいと思っている』（19.1%）、『市や施設等が開催する障害者関連の催し物に参加したい』（14.6%）、『ボランティア活動に関心がある』（19.5%）においては、そう思うと回答した割合は1割台に留まる。
- ・障害者との関与あり層や、グループホーム建設賛成層は、総じてそう思うと回答する割合が高い。一方、グループホーム建設反対層は、多くの項目でそう思わない、どちらとも・わからない層では、「どちらともいえない」と回答する傾向である。

## 障害に対する理解や教育の必要性は半数以上が必要と感じているが、積極的な関わりや身近な場面での関与に対しては消極的。

### 調査結果を受けて

グループホーム建設に対し、反対計は8.5%に留まりましたが、「どちらともいえない」「わからない」と回答した方達は、半数以上となりました。この中立層の方達は、自由回答で多数が「よくわからない／出来てみないとわからない」と回答しており、よくわからないから「不安感」が強くなっており、また、従来からある施設が縮小されて建設されるイメージが強くなっているのではないかと思います。一方、反対層は障害についての項目でも『そう思わない』と回答しており、障害への受容性は低いため、グループホーム建設への同意を頂くためには相当の困難があるかと思われます。また、ごく少数に留まるこの層の声が大きければ、中立層に多大な影響を与えることが推測されます。（今回の調査では、反対層のサンプル数が少なかったため、詳細な分析はできませんでした。）今回の調査結果から、実際にグループホームを建設するにあたり、半数以上を占める中立層の方達に、いかに理解してもらうかが肝要と考えます。具体的には、

- ・実際にどのような方が住むのか
- ・どのような生活の流れか、具体的にイメージできるよう説明
- ・どのような問題が生じ、法人としてどのように対処していくのか
- ・既存のグループホーム事例（実際に生活している様子の映像等）を紹介する

等、漠然とした不安感を抱く住民に対して、より具体的に説明をしていくことが重要であると考えます。併せて、一法人だけの対応では限界がありますので、行政と協力していくことも重要だと思います。ともに啓発活動を行うことに加え、行政の施策として、一定数のグループホームが存在する地区はその割合に応じて組合費が助成されるといった制度による働きがあれば、グループホーム推進に大きく寄与するのではと考えます。また、障害についての項目から、ノーマライゼーションの理念や共生社会の考えが各種施策や福祉関係者の働きかけによって徐々に浸透していると感じました。しかしながら、現状は、頭では分かっているけど、実際に関わるのは・・・という感覚の方が多いのではないかと思います。今後、更に踏み込んだ方法を考えていく必要があると思います。

今回の調査に関するお問い合わせや、福祉の調査に関するご相談は下記までお願いいたします。

mail: yabetu@office.tnc.ne.jp 担当：篠川



## IV. 調査結果詳細

※本報告書に使用した分析軸は左図の通り  
関与はQ 3.「障害者」との関与

G H認知はQ 8.「グループホーム」認知

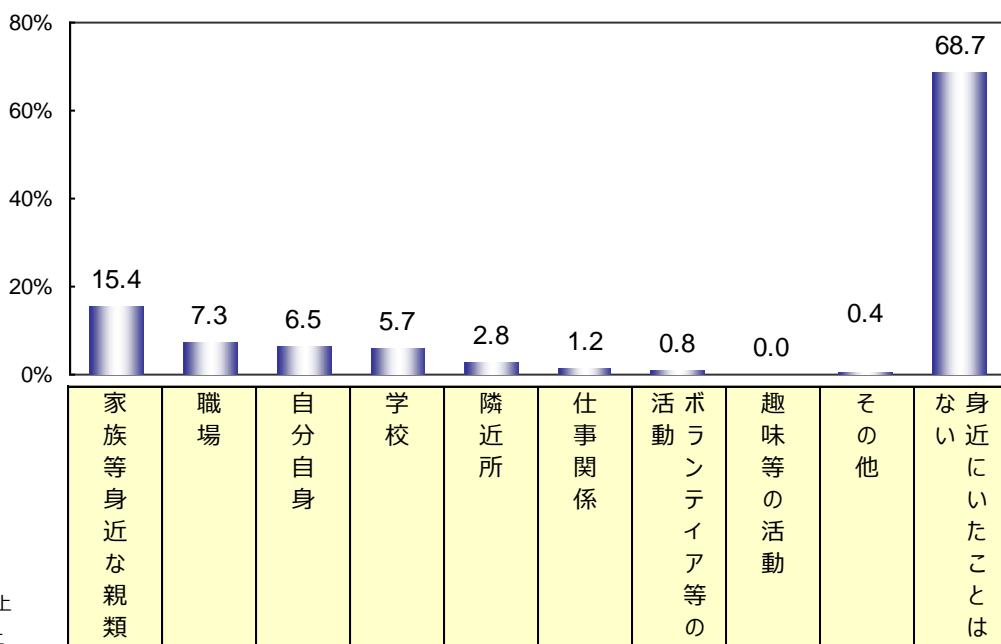
G H建設は1 3.「グループホーム」建設に対してから分類

		n	
全 体		246	
性別	男性	121	
	女性	125	
年代	2 0 代	42	
	3 0 代	50	
	4 0 代	50	
	5 0 代	52	
	6 0 代	52	
関与	あり	77	→Q 3.「身近にいたことはない」非選択者
	なし	169	→Q 3.「身近にいたことはない」選択者
G H 認知	認知	180	→Q 8.「どのようなものか知っている」「名前だけ聞いたことがある」
	非認知	66	→Q 8.「知らない」
G H 建設	賛成	88	→Q 1 3.「とても賛成する」「賛成する」
	反対	21	→Q 1 3.「とても反対する」「反対する」
	どちらとも・わからない	137	→Q 1 3.「どちらともいえない」「わからない」

# 1. 「障害者」との関与

Q3. あなたの身近に障害のある方はいますか（いましたか）。（いくつでも）

- 「身近にいたことはない」(68.7%)が最も高く、次いで大きく差が開き、「家族等身近な親類」(15.4%)、「職場」(7.3%)、「自分自身」(6.5%)が続く。
- 40代は、「身近にいたことはない」の高さが目立つ。
- GH非認知層や、GH建設反対層、どちらも・わからない層は「身近にいたことはない」が高い。（但し、GH建設反対層はn数僅少の為参考値）



下段数表： 全体+10ポイント以上 全体-10ポイント以上

		n	家族等 身近な 親類	職場	自分 自身	学校	隣 近所	仕事 関係	活 動 ボ ラ ン テ ィ ア 等 の	趣 味 等 の 活 動	そ の 他	な い 身 近 に い た こ と は
全体		246	15.4	7.3	6.5	5.7	2.8	1.2	0.8	-	0.4	68.7
性別	男性	121	17.4	9.9	6.6	5.0	1.7	0.8	0.8	-	-	65.3
	女性	125	13.6	4.8	6.4	6.4	4.0	1.6	0.8	-	0.8	72.0
年代	20代	42	19.0	9.5	14.3	19.0	2.4	-	-	-	-	52.4
	30代	50	18.0	10.0	6.0	4.0	2.0	2.0	-	-	-	66.0
	40代	50	10.0	4.0	2.0	2.0	-	-	-	-	-	84.0
	50代	52	21.2	7.7	11.5	5.8	3.8	1.9	1.9	-	-	61.5
	60代	52	9.6	5.8	-	-	5.8	1.9	1.9	-	1.9	76.9
GH 認知	認知	180	17.2	8.9	7.8	6.1	3.9	1.1	0.6	-	0.6	64.4
	非認知	66	10.6	3.0	3.0	4.5	-	1.5	1.5	-	-	80.3
GH 建設	賛成	88	20.5	9.1	9.1	3.4	4.5	3.4	-	-	1.1	61.4
	反対	21	9.5	9.5	9.5	14.3	-	-	-	-	-	71.4
	どちらも・わからない	137	13.1	5.8	4.4	5.8	2.2	-	1.5	-	-	73.0

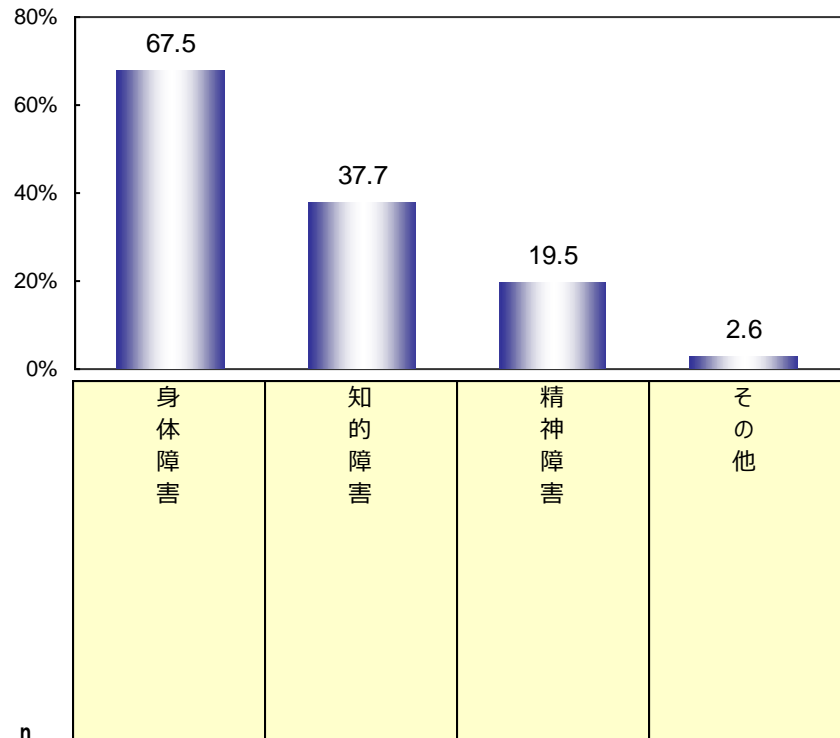
※全体で降順ソート

## 2. 関与のある「障害者」種別

Q4. では、あなたの身近にいる（いた）方の障害の種類・タイプをお知らせください。（いくつでも）

➤ 「身体障害」(67.5%)が最も高く、次いで「知的障害」(37.7%)、「精神障害」(19.5%)の順である。

= 「身近にいたことはない」を除いた人ベース =



下段数表： ■ 全体+10ポイント以上  
■ 全体-10ポイント以上

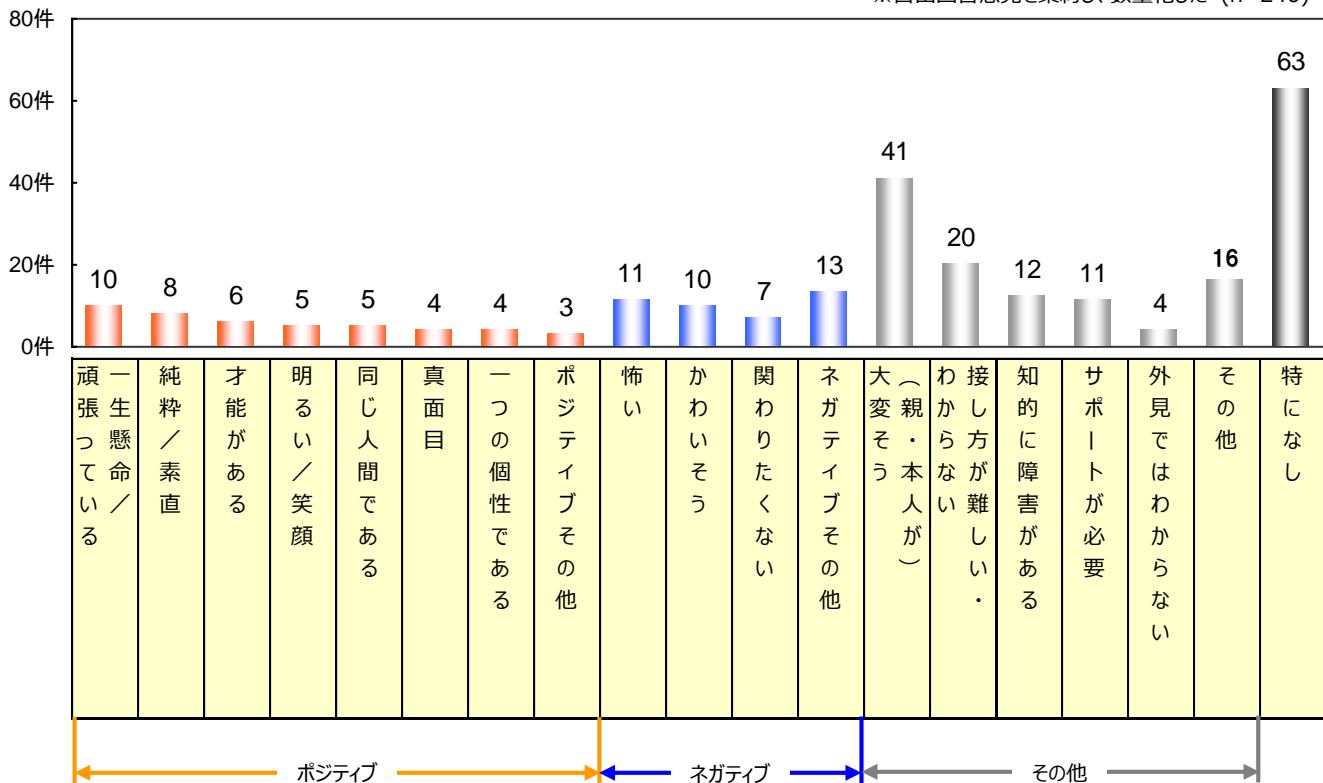
		n	身体障害	知的障害	精神障害	その他
全体		77	67.5	37.7	19.5	2.6
性別	男性	42	71.4	26.2	9.5	2.4
	女性	35	62.9	51.4	31.4	2.9
年代	20代	20	40.0	55.0	35.0	5.0
	30代	17	64.7	35.3	17.6	-
	40代	8	75.0	37.5	12.5	-
	50代	20	80.0	30.0	10.0	5.0
	60代	12	91.7	25.0	16.7	-
GH認知	認知	64	71.9	35.9	18.8	3.1
	非認知	13	46.2	46.2	23.1	-
GH建設	賛成	34	64.7	44.1	23.5	-
	反対	6	50.0	33.3	16.7	16.7
	どちらとも・わからない	37	73.0	32.4	16.2	2.7

### 3. 「知的障害者」イメージ（純粹想起）

Q5. あなたは、「知的障害者」に対してどのようなイメージを持ちますか。どのようなことでも結構ですので自由にお答えください。

- 「（親・本人が）大変そう」や「接し方が難しい・分からない」といった意見が上位に挙がる。
- ポジティブな意見として、「一生懸命／頑張っている」「純粹／素直」「才能がある」等が挙がる。一方、ネガティブな意見として、「怖い」「かわいそう」「関わりたくない」が上位である。

※自由回答意見を集約し、数量化した（n=246）



#### ◇主な意見の抜粋（上位3位）

##### 一生懸命／頑張っている（10件）

- 不自由な事も多々有るようですが、それなりに頑張っている姿、それをサポートする方々も立派だと思います。（男性・60代）
- 個性として、自分に出来る事を頑張っている。（女性・50代）

##### 純粹／素直（8件）

- 純粹で素直なイメージ。（女性・30代）
- ところがキレイ。（女性・30代）

##### 才能がある（6件）

- とても才能がある人がいる。（女性・50代）
- いわゆる一般人よりも優れた能力を持っている人が多いと思う。（女性・60代）

##### （親・本人が）大変そう（41件）

- 苦勞が多そう。本人も周りの家族等も。（女性・40代）
- 親が面倒を見ないといけないため大変。親が元氣なうちは、よいがその後はどうなるのか心配。（男性・40代）

##### 怖い（11件）

- 突然抱きつかれたことがあり、どんな行動をとるかわからないから怖い。（女性・20代）
- わからないけど何かしたら怖い。（女性・50代）

##### かわいそう（10件）

- 不憫。（男性・30代）
- かわいそうだと思う。（女性・50代）

##### 関わりたくない（7件）

- 近寄りがたい。（男性・40代）
- 知的障害は障害であっておかしい人ではないと頭ではわかっていてもあまり関わりたくないなと思ってしまう。（女性・20代）

##### 接し方が難しい・わからない（20件）

- 身体的な障害ではないので、困っていたらすぐに手助けしにくいというイメージ（女性・30代）
- テレビでしか知らないが、家族以外の周りの人の対応がとても難しそうに思う。（男性・60代）

##### 知的に障害がある（12件）

- 言語や行動になんらかの異常がある。（男性・20代）
- 脳の発達遅れ。（男性・60代）

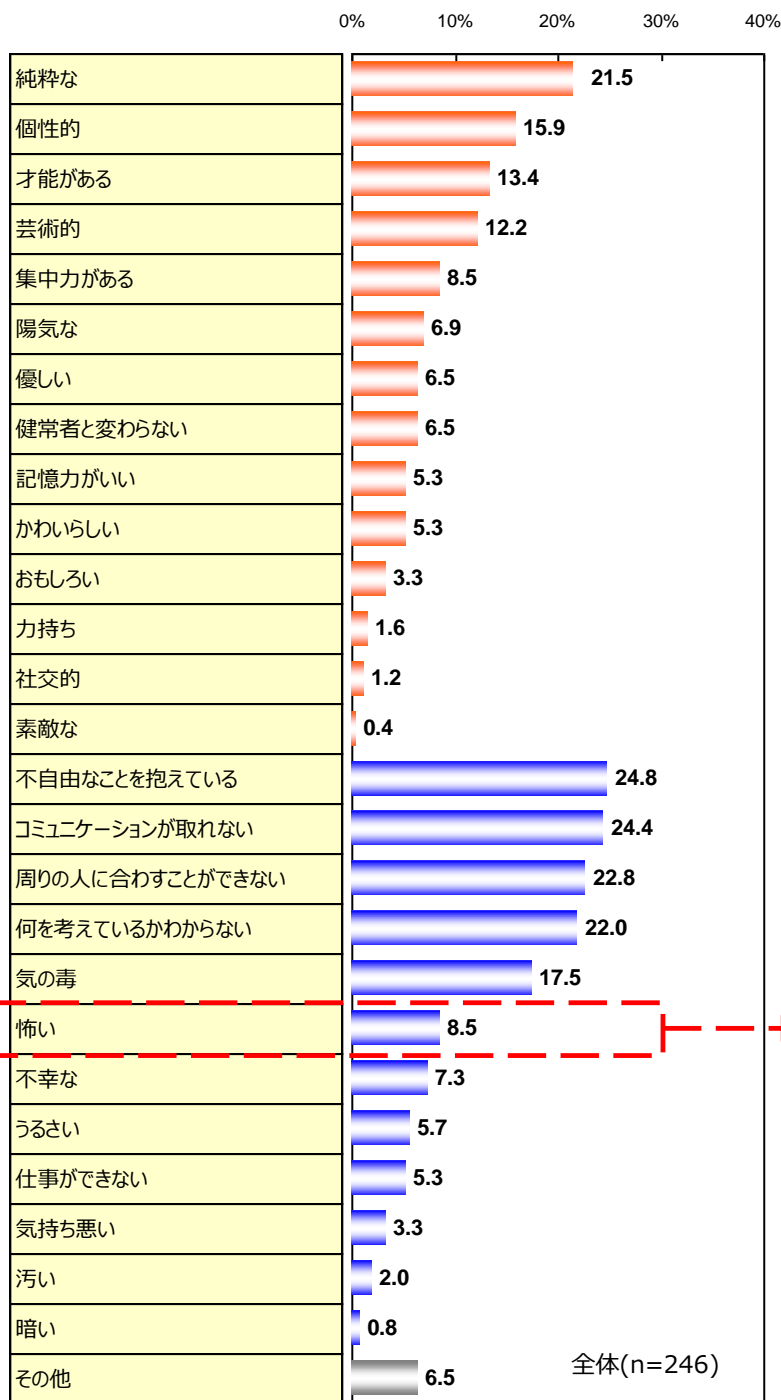
# 4-1. 「知的障害者」イメージ／「知的障害者」が怖い理由

Q6. では、あなたは、「知的障害者」に対してどのようなイメージを持ちますか。あてはまるものを全てお答えください。（いくつでも）

Q7. 前問で【怖い】を選択した方にお伺いします。あなたが、「知的障害者」を【怖い】と思う理由について、あてはまるものを全てお答えください。（いくつでも）

- 知的障害者のイメージにおいて、ポジティブは「純粋な」「個性的」「才能がある」が上位。一方、ネガティブでは「不自由なことを抱えている」「コミュニケーションが取れない」「周りの人に合うことができない」「何を考えているかわからない」が2割台である。
- 知的障害者が怖い理由は、「何を考えているかわからないから」（76.2%）が最も高く、次いで、「他人に危害を加える恐れがあるから」（52.4%）、「大声を出す恐れがあるから」（33.3%）が続く。

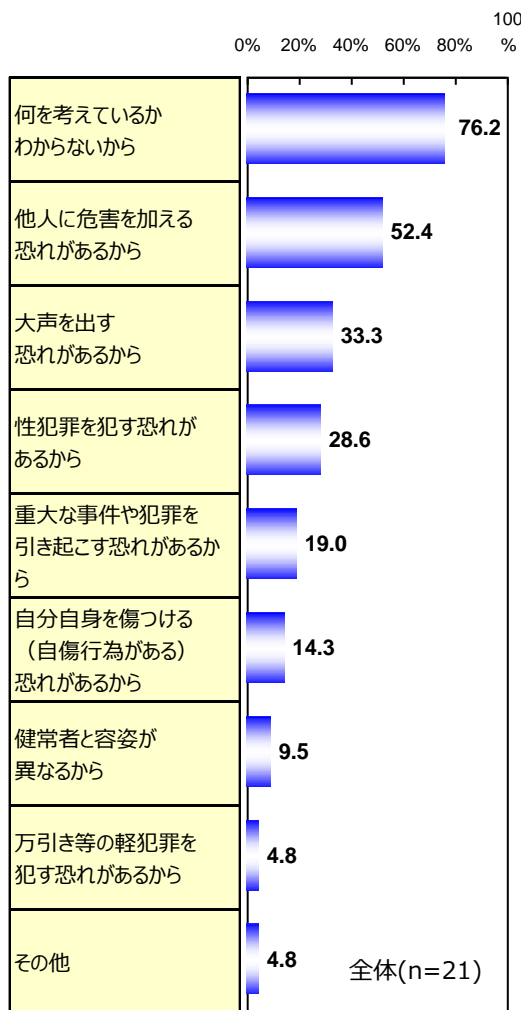
## ◇「知的障害者」イメージ



※ポジティブ、ネガティブで降順ソート

## ◇「知的障害者」が怖い理由

= 前問で「怖い」選択者ベース =



※全体で降順ソート

## 4-2. 「知的障害者」イメージ（属性別）

Q6. では、あなたは、「知的障害者」に対してどのようなイメージを持ちますか。あてはまるものを全てお答えください。（いくつでも）

- 障害者との関与別では、関与ありは「コミュニケーションが取れない」「周りの人に合わすことができない」といった具体的な想起がされている。
- また、グループホーム建設賛成層は、ポジティブなイメージが強い。一方、反対層はネガティブなイメージの高さが目立つ。（但し、n 数僅少の為参考値）

数表： ■ 全体+10ポイント以上 ■ 全体-10ポイント以上

	全体 n	性別		年代					障害者との 関与		GH 認知		GH 建設		
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	あり	なし	認知	非認知	賛成	反対	どちらとも わからない
純粋な	21.5	16.5	26.4	19.0	28.0	16.0	17.3	26.9	28.6	18.3	24.4	13.6	30.7	4.8	18.2
個性的	15.9	11.6	20.0	16.7	14.0	16.0	11.5	21.2	14.3	16.6	18.3	9.1	28.4	4.8	9.5
才能がある	13.4	11.6	15.2	21.4	12.0	12.0	7.7	15.4	14.3	13.0	11.7	18.2	19.3	9.5	10.2
芸術的	12.2	10.7	13.6	14.3	4.0	16.0	9.6	17.3	7.8	14.2	14.4	6.1	15.9	9.5	10.2
集中力がある	8.5	6.6	10.4	9.5	6.0	10.0	5.8	11.5	10.4	7.7	10.0	4.5	10.2	-	8.8
陽気な	6.9	3.3	10.4	14.3	4.0	2.0	9.6	5.8	10.4	5.3	7.8	4.5	8.0	4.8	6.6
優しい	6.5	5.0	8.0	9.5	6.0	8.0	7.7	1.9	7.8	5.9	7.2	4.5	11.4	-	4.4
健常者と変わらない	6.5	5.0	8.0	7.1	4.0	2.0	7.7	11.5	7.8	5.9	7.8	3.0	10.2	-	5.1
記憶力が高い	5.3	5.0	5.6	11.9	-	10.0	5.8	-	7.8	4.1	4.4	7.6	5.7	-	5.8
かわいらしい	5.3	4.1	6.4	9.5	4.0	2.0	1.9	9.6	5.2	5.3	6.1	3.0	10.2	-	2.9
おもしろい	3.3	2.5	4.0	7.1	-	4.0	1.9	3.8	6.5	1.8	4.4	-	5.7	-	2.2
力持ち	1.6	2.5	0.8	2.4	-	-	3.8	1.9	3.9	0.6	2.2	-	3.4	-	0.7
社交的	1.2	0.8	1.6	2.4	4.0	-	-	-	1.3	1.2	1.7	-	1.1	-	1.5
素敵な	0.4	-	0.8	2.4	-	-	-	-	-	0.6	0.6	-	-	-	0.7
不自由なことを抱えている	24.8	21.5	28.0	28.6	28.0	22.0	13.5	32.7	19.5	27.2	25.6	22.7	23.9	33.3	24.1
コミュニケーションが取れない	24.4	26.4	22.4	35.7	18.0	18.0	25.0	26.9	32.5	20.7	25.0	22.7	21.6	52.4	21.9
周りの人に合わすことができない	22.8	23.1	22.4	26.2	20.0	26.0	21.2	21.2	33.8	17.8	23.3	21.2	18.2	52.4	21.2
何を考えているかわからない	22.0	20.7	23.2	40.5	18.0	26.0	19.2	9.6	24.7	20.7	20.6	25.8	15.9	42.9	22.6
気の毒	17.5	20.7	14.4	16.7	14.0	12.0	19.2	25.0	18.2	17.2	15.0	24.2	17.0	23.8	16.8
怖い	8.5	5.0	12.0	23.8	4.0	10.0	1.9	5.8	13.0	6.5	9.4	6.1	3.4	23.8	9.5
不幸な	7.3	9.9	4.8	7.1	10.0	6.0	5.8	7.7	10.4	5.9	7.2	7.6	10.2	14.3	4.4
うるさい	5.7	7.4	4.0	9.5	6.0	6.0	7.7	-	9.1	4.1	5.0	7.6	3.4	14.3	5.8
仕事ができない	5.3	5.8	4.8	9.5	4.0	2.0	9.6	1.9	11.7	2.4	5.6	4.5	4.5	9.5	5.1
気持ち悪い	3.3	2.5	4.0	11.9	2.0	2.0	-	1.9	5.2	2.4	3.3	3.0	1.1	14.3	2.9
汚い	2.0	1.7	2.4	7.1	2.0	2.0	-	-	2.6	1.8	1.7	3.0	-	9.5	2.2
暗い	0.8	-	1.6	2.4	-	-	-	1.9	2.6	-	1.1	-	1.1	-	0.7
その他	6.5	8.3	4.8	2.4	8.0	6.0	7.7	7.7	5.2	7.1	6.7	6.1	5.7	-	8.0

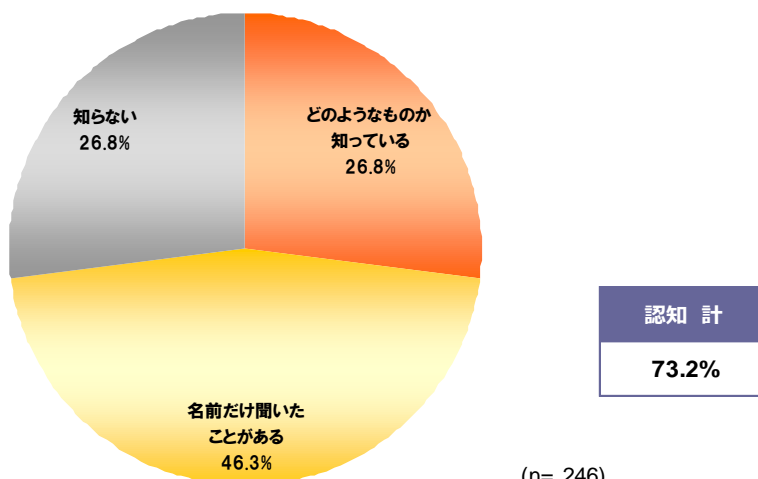
※ポジティブ、ネガティブで降順ソート

(%)

# 5. 「グループホーム」認知

Q8. あなたは、「グループホーム」を知っていますか。(ひとつ)

- グループホーム認知は、「どのようなものか知っている」(26.8%)、「名前だけ聞いたことがある」(46.3%)を合わせて73.2%。
- 女性の認知率は8割を占める。
- 障害者との関与ありは、関与なしに比べて認知率の開きが大きい。



(n= 246)

		n	どのようなものか 知っている	名前だけ聞いた ことがある	知らない	認知計
全体		246	26.8	46.3	26.8	73.2
性別	男性	121	21.5	44.6	33.9	66.1
	女性	125	32.0	48.0	20.0	80.0
年代	20代	42	23.8	50.0	26.2	73.8
	30代	50	30.0	40.0	30.0	70.0
	40代	50	12.0	54.0	34.0	66.0
	50代	52	34.6	36.5	28.8	71.2
	60代	52	32.7	51.9	15.4	84.6
関与	あり	77	40.3	42.9	16.9	83.1
	なし	169	20.7	47.9	31.4	68.6
GH建設	賛成	88	35.2	47.7	17.0	83.0
	反対	21	23.8	57.1	19.0	81.0
	どちらとも わからない	137	21.9	43.8	34.3	65.7

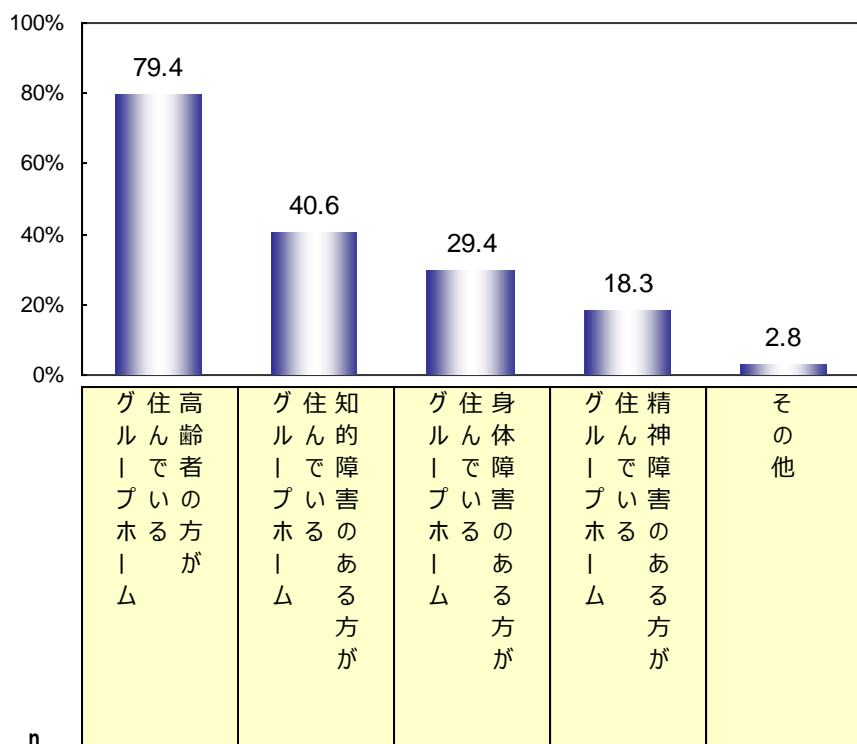
\* 認知計 = 「どのようなものか知っている」+「名前だけ聞いたことがある」

## 6. 「グループホーム」種別認知

Q9. 「グループホーム」を知っていると答えの方にお伺いします。あなたがご存じのグループホームをお知らせください。（いくつでも）

- 知っているグループホームは、「高齢者の方が住んでいるグループホーム」（79.4%）が8割で最も高く、次いで差が開き、「知的障害のある方が住んでいるグループホーム」（40.6%）、「身体障害のある方が住んでいるグループホーム」（29.4%）、「精神障害のある方が住んでいるグループホーム」（18.3%）の順である。
- 障害者との関与あり層は、関与なし層に比べて「知的障害のある方が住んでいるグループホーム」「身体障害のある方が住んでいるグループホーム」の認知が高い。

= グループホーム認知者ベース =



下段数表： ■ 全体+10ポイント以上 ■ 全体-10ポイント以上

		n	79.4	40.6	29.4	18.3	2.8
全体		180	79.4	40.6	29.4	18.3	2.8
性別	男性	80	75.0	46.3	35.0	18.8	3.8
	女性	100	83.0	36.0	25.0	18.0	2.0
年代	20代	31	77.4	48.4	38.7	22.6	6.5
	30代	35	68.6	42.9	28.6	20.0	-
	40代	33	84.8	45.5	33.3	21.2	-
	50代	37	78.4	37.8	24.3	10.8	2.7
	60代	44	86.4	31.8	25.0	18.2	4.5
関与	あり	64	76.6	56.3	42.2	25.0	1.6
	なし	116	81.0	31.9	22.4	14.7	3.4
GH建設	賛成	73	76.7	46.6	39.7	20.5	1.4
	反対	17	82.4	35.3	23.5	11.8	-
	どちらとも・わからない	90	81.1	36.7	22.2	17.8	4.4

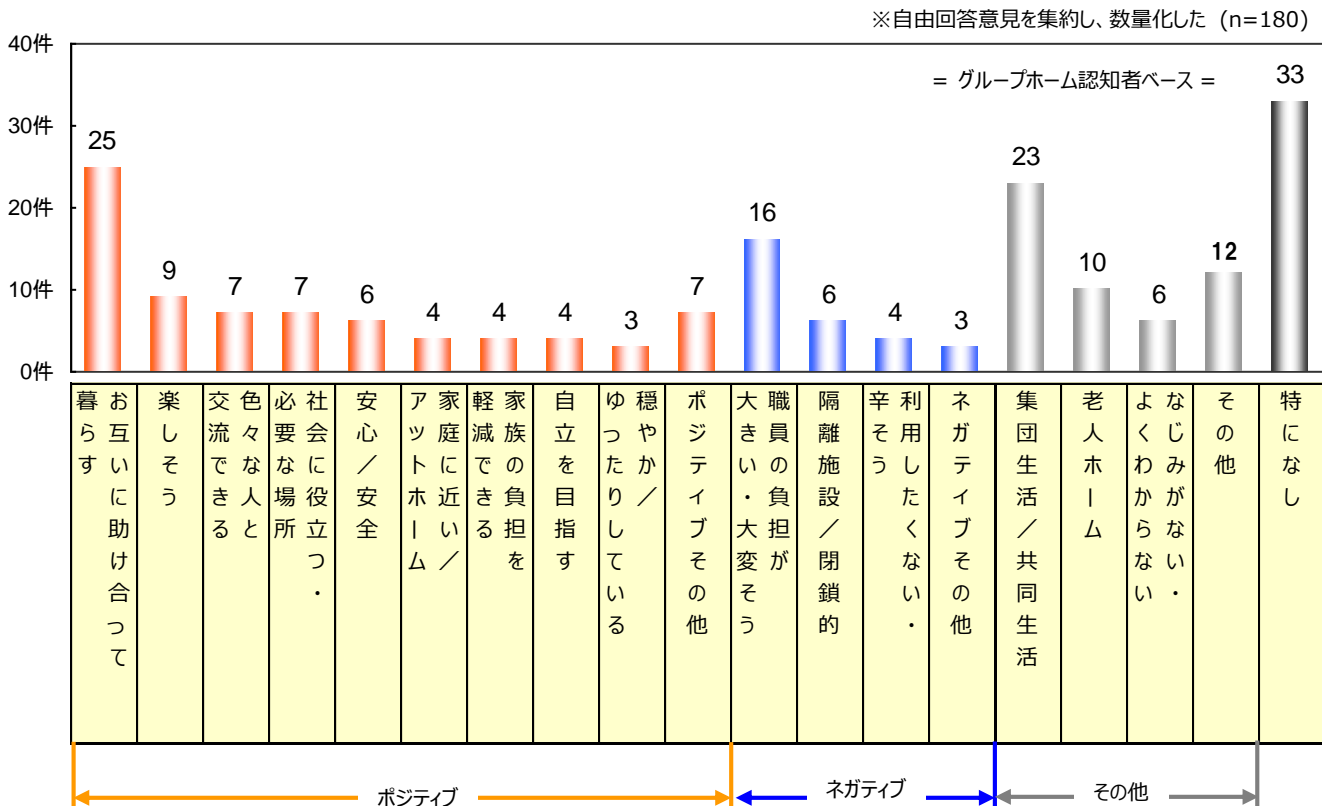
※全体で降順ソート



# 7. 「グループホーム」イメージ (純粹想起)

Q10. 「グループホーム」を知っていると答えの方にお伺いします。あなたは、「グループホーム」に対してどのようなイメージを持ちますか。どのようなことでも結構ですので自由にお答えください。

➤ ポジティブな意見として、「お互いに助け合って暮らす」、ネガティブな意見として、「職員の負担大きい・大変そう」、その他では「集団生活／共同生活」が上位に挙がる。



## ◇主な意見の抜粋 (上位3位)

### お互いに助け合って暮らす (25件)

- 似たような立場の人が集まって、助け合って暮らす。(女性・60代)
- 皆が力を合わせて生活をしている。(女性・40代)

### 楽しそう (9件)

- 自分勝手に生きるなら一人で生活できないことは不便かもしれないが常に仲間がいる生活と言うのも楽しいのではないか。(女性・60代)
- 楽しそう。(女性・30代)

### 色々な人と交流できる (7件)

- 仲間ができる。(女性・50代)
- ハンディキャップを持つ人達が社会の一員として家族以外の人と関わりを持てる場。(女性・20代)

### 社会に役立つ・必要な場所 (7件)

- 社会的弱者への支援の場になっていると思う。(女性・20代)
- 社会に役立つ、知的に障害の方の居場所。(男性・30代)

### 職員の負担が大変そう (16件)

- 職員の苦勞が計り知れない。(男性・30代)
- 色々な人がいるので対応が大変そう。(女性・50代)

### 隔離施設／閉鎖的 (6件)

- 地域との交流がなく隔離されているイメージ。(女性・40代)
- 結局一般の人と隔離する施設。面倒見る人がいなければ仕方ない。(女性・60代)

### 利用したくない・辛そう (4件)

- お世話になりたくない。(女性・40代)

### 集団生活／共同生活 (23件)

- 同じようなハンデを持った方々の集まる施設。(男性・50代)
- みんなで住んでるお家？(女性・20代)

### 老人ホーム (10件)

- 高齢者が支援を受けられる施設。(男性・20代)
- 老人ホームと同じ。(男性・30代)

### なじみがない・よくわからない (6件)

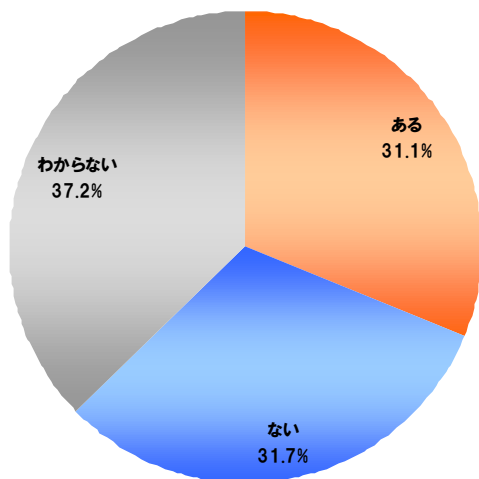
- 自分にとって馴染みのない存在。(男性・20代)
- 身近にないのでわからない。(男性・60代)

## 8. 近隣の「グループホーム」について

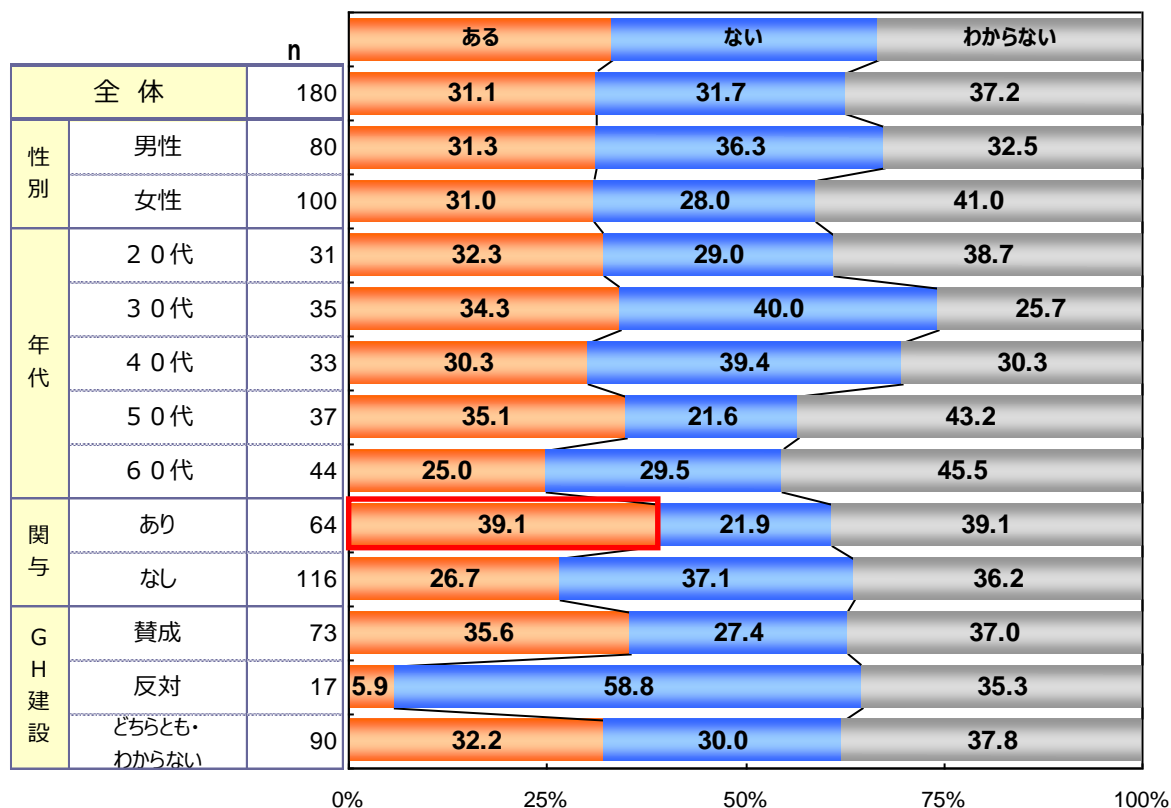
Q11. 「グループホーム」を知っているとお答えの方にお伺いします。あなたが住んでいる（住んでいた）近くに「グループホーム」はありますか（ありましたか）。（ひとつ）

- 「ある」「ない」「わからない」がそれぞれ3割台である。
- 障害者との関与あり層は、関与なし層に比べて「ある」と回答した割合が高い。

= グループホーム認知者ベース =



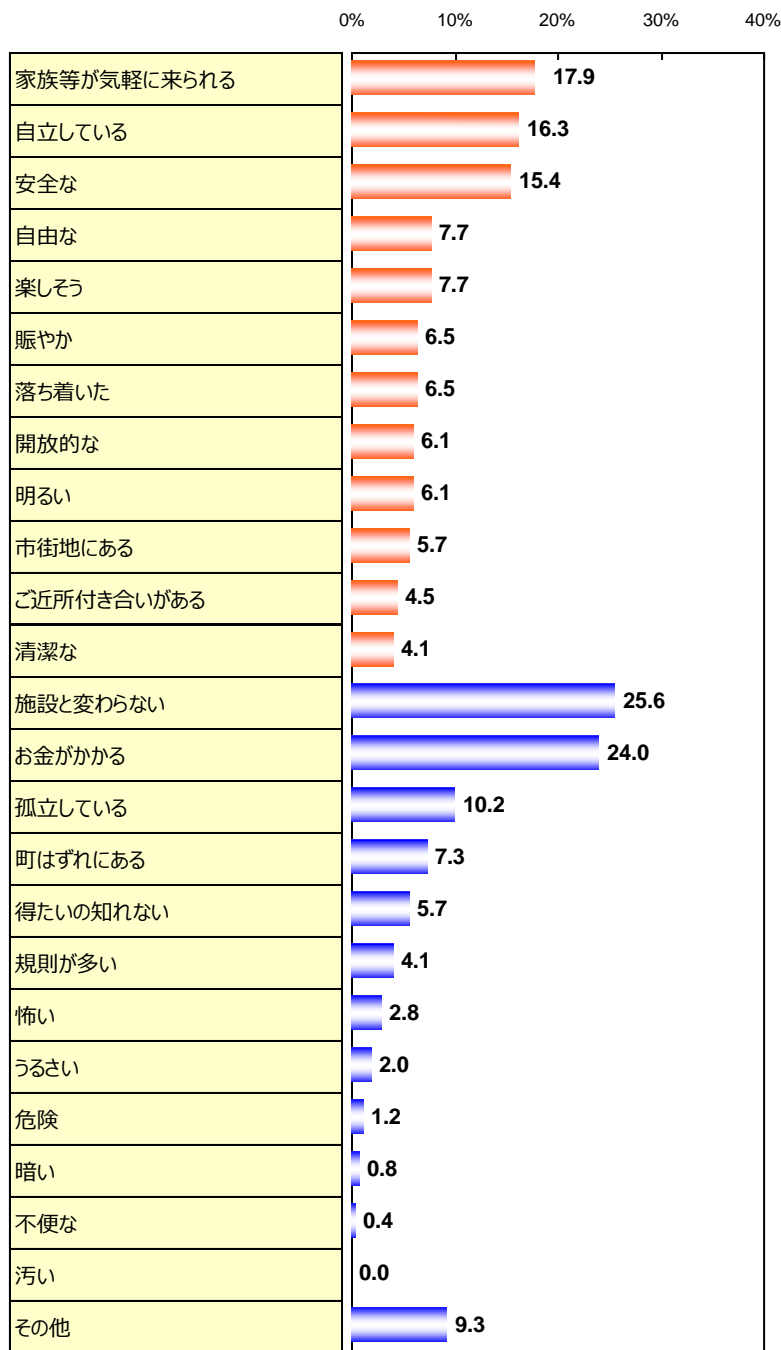
(n= 180)



# 9-1. 「グループホーム」イメージ

Q12. この図をよくお読みになってからお答えください。あなたはこの図のような知的障害のある方が住む「グループホーム」に対して、どのようなイメージを持ちますか。あてはまるものを全てお答えください。（いくつでも）

➤ グループホームのイメージにおいて、ポジティブは「家族等が気軽に来られる」「自立している」「安全な」が1割台で上位。一方、ネガティブでは「施設と変わらない」「お金がかかる」が2割を越え上位に挙がる。



全体(n=246)

※ポジティブ、ネガティブで降順ソート

## ☆提示画像

### グループホームとは

- ・グループホームは、障害のある方が地域の中で家庭的な雰囲気の下、共同生活を行う住まいの場です。
- ・1つの住居の利用者数の平均は5名程度です。

#### 具体的な利用者像

- ・単身での生活は不安があるため、一定の支援を受けながら地域の中で暮らしたい方
- ・一定の介護が必要であるが、施設ではなく、地域の中で暮らしたい方
- ・施設を退所して、地域生活へ移行したいがいまの単身生活には不安がある方 など

#### 具体的な支援内容

- ・相談、入浴、排溺または食事の介護、その他の日常生活上の援助を行います。



- ・住宅地に立地
- ・入居定員は原則10名以下

※厚生労働省「障害者の地域生活の促進に関する法律(第110)425.07.26(1)から抜粋して作成

# 9-2. 「グループホーム」イメージ（属性別）

Q12. この図をよくお読みになってからお答えください。あなたはこの図のような知的障害のある方が住む「グループホーム」に対して、どのようなイメージを持ちますか。あてはまるものを全てお答えください。（いくつでも）

- グループホーム建設反対層は、ポジティブなイメージが弱く、「施設と変わらない」イメージが特に強い。（但し、n 数僅少の為参考値）
- また、どちらともいえない・わからない層は、「施設と変わらない」「お金がかかる」が2割を超える。

数表： 全体+10ポイント以上  
全体-10ポイント以上

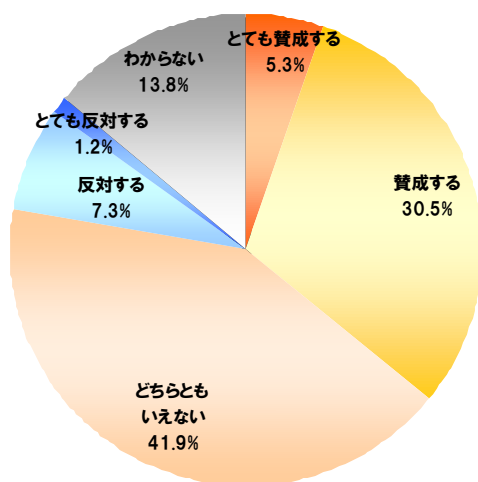
	全体 n	性別		年代					障害者との 関与		GH 認知		GH 建設		
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	あり	なし	認知	非認知	賛成	反対	どちらとも わからない
	246	121	125	42	50	50	52	52	77	169	180	66	88	21	137
家族等が気軽に来られる	17.9	11.6	24.0	11.9	8.0	18.0	19.2	30.8	18.2	17.8	21.1	9.1	29.5	9.5	11.7
自立している	16.3	10.7	21.6	26.2	12.0	16.0	11.5	17.3	16.9	16.0	18.3	10.6	23.9	-	13.9
安全な	15.4	12.4	18.4	35.7	12.0	10.0	7.7	15.4	16.9	14.8	16.7	12.1	22.7	4.8	12.4
自由な	7.7	2.5	12.8	4.8	6.0	4.0	9.6	13.5	7.8	7.7	9.4	3.0	13.6	4.8	4.4
楽しそう	7.7	4.1	11.2	7.1	10.0	4.0	5.8	11.5	9.1	7.1	8.3	6.1	17.0	-	2.9
賑やか	6.5	3.3	9.6	9.5	10.0	4.0	3.8	5.8	10.4	4.7	8.3	1.5	11.4	-	4.4
落ち着いた	6.5	6.6	6.4	11.9	8.0	6.0	1.9	5.8	7.8	5.9	7.2	4.5	13.6	-	2.9
開放的な	6.1	2.5	9.6	7.1	4.0	6.0	5.8	7.7	10.4	4.1	6.7	4.5	11.4	-	3.6
明るい	6.1	3.3	8.8	9.5	2.0	4.0	5.8	9.6	9.1	4.7	7.2	3.0	15.9	-	0.7
市街地にある	5.7	4.1	7.2	4.8	8.0	4.0	7.7	3.8	10.4	3.6	6.7	3.0	8.0	-	5.1
ご近所付き合いがある	4.5	4.1	4.8	7.1	4.0	4.0	3.8	3.8	5.2	4.1	5.6	1.5	10.2	-	1.5
清潔な	4.1	6.6	1.6	4.8	6.0	2.0	3.8	3.8	7.8	2.4	4.4	3.0	6.8	-	2.9
施設と変わらない	25.6	30.6	20.8	31.0	14.0	30.0	26.9	26.9	29.9	23.7	26.1	24.2	21.6	38.1	26.3
お金がかかる	24.0	23.1	24.8	19.0	20.0	32.0	23.1	25.0	29.9	21.3	21.7	30.3	19.3	14.3	28.5
孤立している	10.2	9.9	10.4	11.9	8.0	6.0	11.5	13.5	5.2	12.4	10.6	9.1	8.0	14.3	10.9
町はずれにある	7.3	9.1	5.6	7.1	10.0	12.0	1.9	5.8	9.1	6.5	6.7	9.1	5.7	14.3	7.3
得たいの知れない	5.7	6.6	4.8	11.9	6.0	4.0	1.9	5.8	9.1	4.1	3.3	12.1	2.3	9.5	7.3
規則が多い	4.1	5.0	3.2	7.1	4.0	6.0	3.8	-	6.5	3.0	5.0	1.5	3.4	-	5.1
怖い	2.8	3.3	2.4	4.8	4.0	2.0	1.9	1.9	2.6	3.0	2.2	4.5	-	9.5	3.6
うるさい	2.0	3.3	0.8	4.8	4.0	-	-	1.9	5.2	0.6	2.2	1.5	2.3	-	2.2
危険	1.2	1.7	0.8	2.4	2.0	-	-	1.9	-	1.8	0.6	3.0	-	9.5	0.7
暗い	0.8	1.7	-	2.4	2.0	-	-	-	1.3	0.6	0.6	1.5	-	4.8	0.7
不便な	0.4	-	0.8	2.4	-	-	-	-	1.3	-	0.6	-	-	-	0.7
汚い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	9.3	11.6	7.2	7.1	12.0	2.0	11.5	13.5	10.4	8.9	10.0	7.6	10.2	14.3	8.0

(%) ※ポジティブ、ネガティブで降順ソート

# 10. 「グループホーム」建設に対して

Q13. では、あなたが現在住んでいる近くに、この図のような知的障害のある方が住む「グループホーム」が建設されるとしたらどのように感じますか。  
(ひとつ)

- グループホーム建設に対して、賛成 計が35.8%に対し、反対 計は8.5%に留まるものの、「どちらともいえない」(41.9%)が4割を超え最も高い。
- 年代別では、40代や50代の賛成 計が低く2割台である。
- 障害者との関与あり層やグループホーム認知層は賛成 計が4割を超える。



(n= 246)

		n	とても賛成する	賛成する	どちらともいえない	反対する	とても反対する	わからない	賛成する 計	反対する 計
全体		246	5.3	30.5	41.9	7.3	1.2	13.8	35.8	8.5
性別	男性	121	4.1	27.3	44.6	5.8	2.5	15.7	31.4	8.3
	女性	125	6.4	33.6	39.2	8.8	1.2	12.0	40.0	8.8
年代	20代	42	2.4	33.3	38.1	14.3	1.9	11.9	35.7	14.3
	30代	50	8.0	30.0	40.0	4.0	4.0	14.0	38.0	8.0
	40代	50	6.0	22.0	50.0	6.0	2.0	14.0	28.0	8.0
	50代	52	5.8	23.1	50.0	7.7	1.4	13.5	28.8	7.7
	60代	52	3.8	44.2	30.8	5.8	1.5	15.4	48.1	5.8
関与	あり	77	7.8	36.4	39.0	6.5	1.3	9.1	44.2	7.8
	なし	169	4.1	27.8	43.2	7.7	1.2	16.0	32.0	8.9
認知	認知	180	6.1	34.4	39.4	8.3	1.1	10.6	40.6	9.4
	非認知	66	3.0	19.7	48.5	4.5	1.5	22.7	22.7	6.1

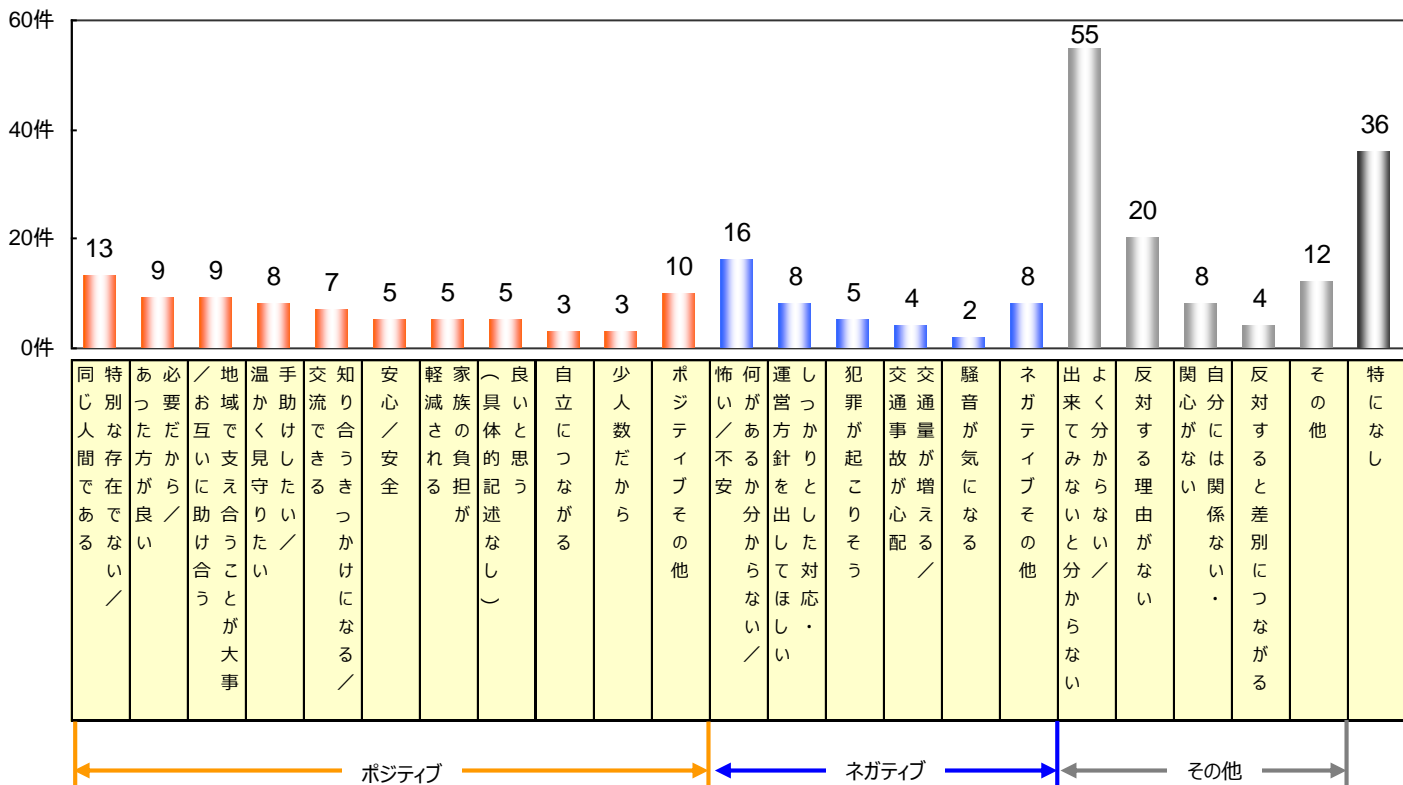
\* 賛成する 計 = 「とても賛成する」 + 「賛成する」  
反対する 計 = 「とても反対する」 + 「反対する」

# 11. 「グループホーム」建設に対する回答理由

Q14. そのようにお答えになった理由を、どのようなことでも結構ですのご自由にお答えください。

- 「よく分からない／出来てみないと分からない」（55件）が突出する。
- ポジティブな意見は、「特別な存在でない／同じ人間である」、ネガティブでは、「何があるか分からない／怖い／不安」がトップである。

※自由回答意見を集約し、数量化した（n=246）



## ◇主な意見の抜粋（上位3位）

### 特別な存在でない／同じ人間である（13件）

- 特別な存在ではない。常に家族と社会が考える機会として受け入れるべきである。(男性・60代)
- 障がいがあることは、全く悪いことではないから。(女性・30代)

### 必要だから／あった方がよい（9件）

- そういった場所が多くあるべきだと思う。(男性・20代)
- 必要な施設だから数を増やした方がいい。(女性・50代)

### 地域で支え合うことが大事／お互いに助け合う（9件）

- 弱者に対して、地域で支えあう事が必要だから。(男性・40代)
- 障害があるからといって、一般の人たちの住む場所から遠ざけなければいけない...というのではないと思う。周りの人たちに助けてもらいながら、地域の活動にも参加して、お互い協力し合っていけばいいと思う。(女性・20代)

### よく分からない／出来てみないと分からない（55件）

- 実際にできてみないとわからないことが多いから。(男性・50代)
- 自分たちにどのような影響があるかわからないから。(女性・30代)
- 具体的なイメージがわからない。(女性・40代)

### 何があるか分からない／怖い／不安（16件）

- 家の周りに障害の人がいると何かあると不安。(女性・20代)
- このような場所が必要な事も理解は出来るが、ソレが身近な場所となると、先が読めない部分があり不安もある。(女性・40代)

### しっかりとした対応・運営方針を出してほしい（8件）

- 一部の知的障害者は、時折、暴力的なふるまいをするためそれに対して、しっかりとした対応がなされないグループホームは建設して欲しくない。(男性・60代)
- 運営方針による。(男性・50代)

### 犯罪が起こりそう（5件）

- 近所だったら、抜け出した障害者が犯罪を犯しそうで嫌だ。(男性・20代)
- 犯罪が心配 (男性・40代)

### 反対する理由がない（20件）

- 積極的に賛成はしないが嫌でもないので、どちらともいえない。(男性・30代)
- 特に近くにできても変わらないと思うから。(男性・40代)

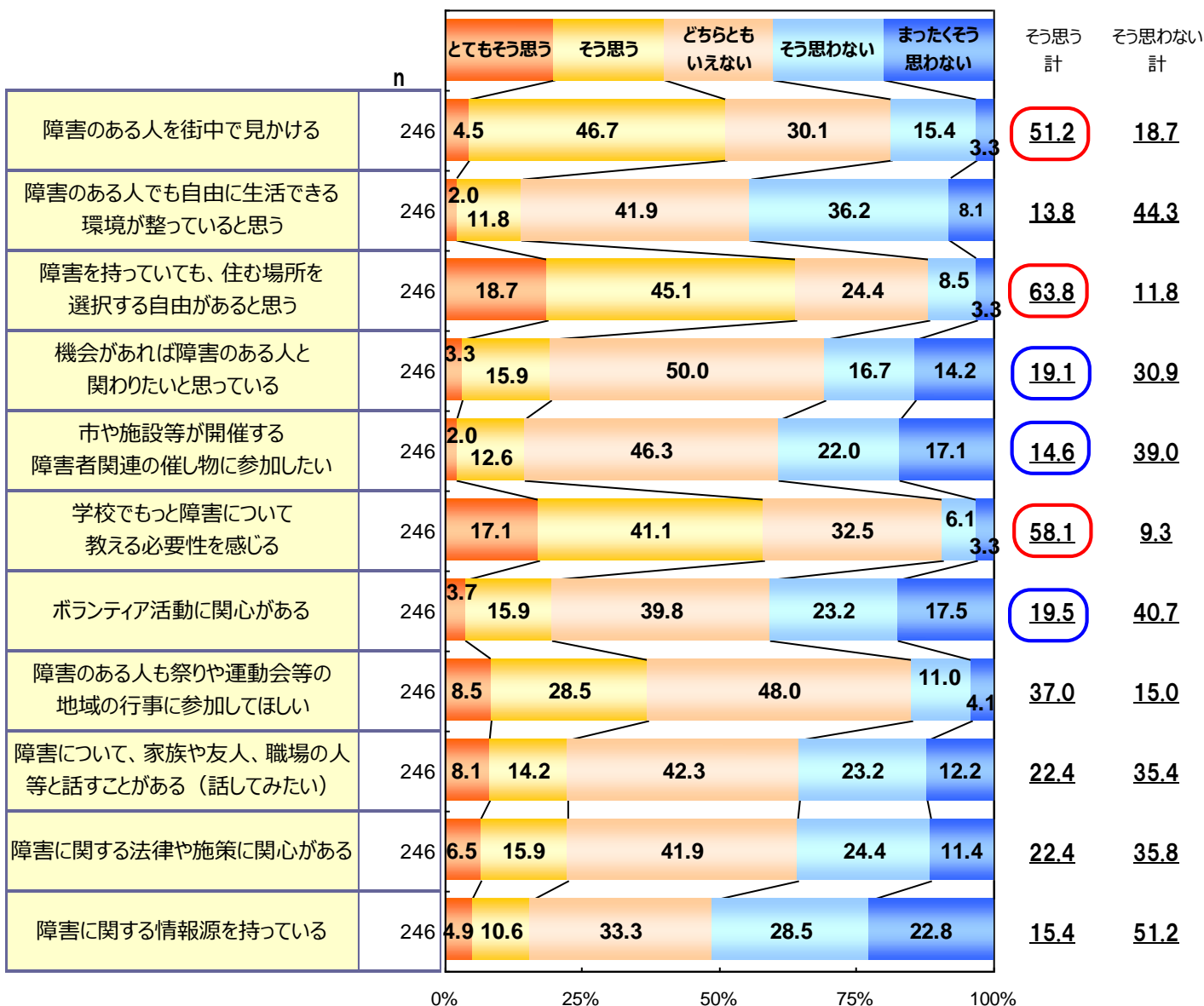
### 自分には関係ない・関心がない（8件）

- あまり自分には関係ないかなと感じてしまう。(女性・20代)
- 関わらないのならどうでもいい。(男性・50代)

# 1 2-1. 障害について (一覧)

Q 1 5. あなたは、以下の項目についてどのように感じますか。あてはまるものをそれぞれ 1 つだけお答えください。(それぞれひとつ)

- ▶ 『障害のある人を街中で見かける』『障害を持っていても、住む場所を選択する自由があると思う』『学校でもっと障害について教える必要性を感じる』において、半数以上がそう思うと回答している。
- ▶ 一方で、『機会があれば障害のある人と関わりたいと思っている』『市や施設等が開催する障害者関連の催し物に参加したい』『ボランティア活動に関心がある』の項目ではそう思う計が 1 割台に留まり、障害に対する理解の必要性は感じているものの、実際の関わりまでには至っていないことがうかがえる。



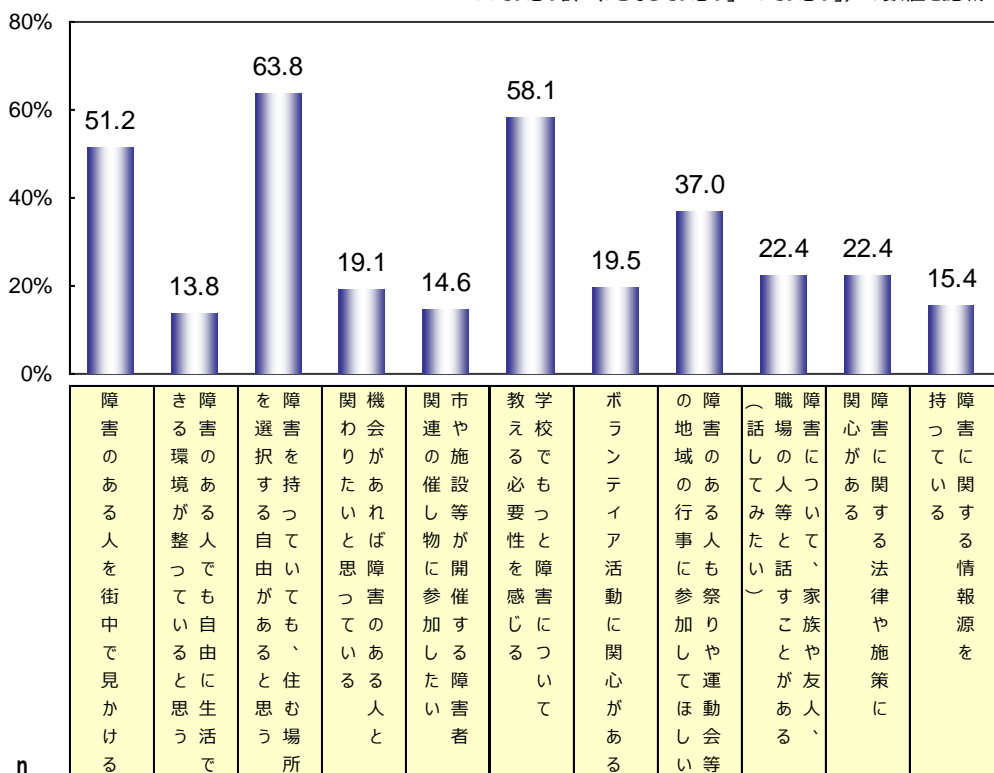
\* そう思う 計 = 「とてもそう思う」+「そう思う」  
 そう思わない 計 = 「そう思わない」+「まったくそう思わない」

# 1 2-2. 障害について（属性別 そう思う計）

Q 1 5. あなたは、以下の項目についてどのように感じますか。あてはまるものをそれぞれ 1 つだけお答えください。（それぞれひとつ）

- 20代は、『機会があれば障害のある人と関わりたいと思っている』『ボランティア活動に関心がある』『障害に関する法律や施策に関心がある』『障害に関する情報源を持っている』が高い。
- 障害者との関与あり層や、GH建設賛成層は、総じて『そう思う』と回答する割合が高い。

※そう思う計（「とてもそう思う」+「そう思う」）の数値を記載



下段数表：  
■ 全体+10ポイント以上  
■ 全体-10ポイント以上

		n	障害のある人を街中で見かける	き障害の環境を整って自由な生活	を選択する自由があると住む場所	関わりがたいと思っている人	関連の催し物に参加したい	市や施設等が開催する障害者	教える必要と障害を感じる	ボランティア活動に関心がある	の地域の行事に参加してほしい等	(話ししてみたい) 職場の人等と話すことや友人、	障害に関する法律や施策に	持っている情報源を
全体		246	51.2	13.8	63.8	19.1	14.6	58.1	19.5	37.0	22.4	22.4	15.4	
性別	男性	121	47.9	12.4	60.3	18.2	11.6	52.1	17.4	35.5	22.3	21.5	14.9	
	女性	125	54.4	15.2	67.2	20.0	17.6	64.0	21.6	38.4	22.4	23.2	16.0	
年代	20代	42	57.1	14.3	57.1	31.0	19.0	59.5	31.0	38.1	23.8	33.3	28.6	
	30代	50	56.0	20.0	46.0	24.0	24.0	52.0	22.0	40.0	26.0	30.0	20.0	
	40代	50	46.0	8.0	66.0	8.0	-	54.0	2.0	30.0	18.0	14.0	12.0	
	50代	52	51.9	9.6	69.2	15.4	15.4	59.6	19.2	30.8	21.2	19.2	9.6	
	60代	52	46.2	17.3	78.8	19.2	15.4	65.4	25.0	46.2	23.1	17.3	9.6	
関与	あり	77	62.3	23.4	64.9	29.9	24.7	63.6	28.6	45.5	41.6	42.9	33.8	
	なし	169	46.2	9.5	63.3	14.2	10.1	55.6	15.4	33.1	13.6	13.0	7.1	
GH認知	認知	180	55.0	14.4	70.6	21.7	17.2	65.0	21.7	42.8	24.4	24.4	17.8	
	非認知	66	40.9	12.1	45.5	12.1	7.6	39.4	13.6	21.2	16.7	16.7	9.1	
GH建設	賛成	88	59.1	26.1	83.0	38.6	28.4	77.3	34.1	65.9	42.0	35.2	25.0	
	反対	21	52.4	9.5	33.3	-	-	23.8	-	-	4.8	9.5	4.8	
	どちらとも・わからない	137	46.0	6.6	56.2	9.5	8.0	51.1	13.1	24.1	12.4	16.1	10.9	

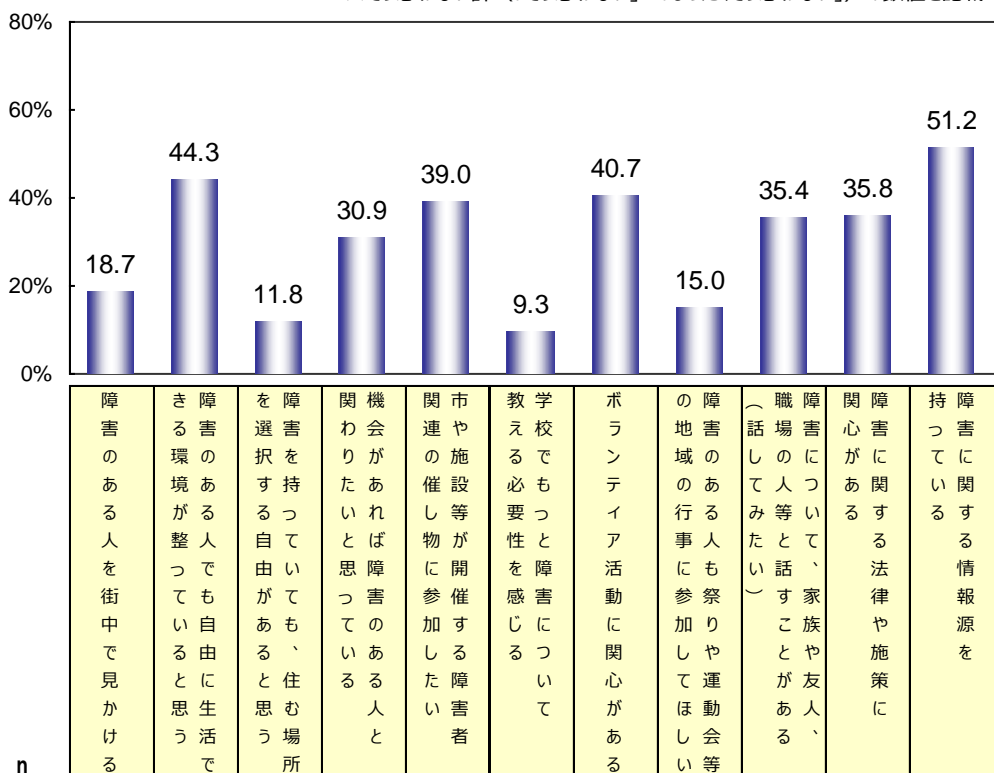


# 1 2-3. 障害について（属性別 そう思わない計）

Q 1 5. あなたは、以下の項目についてどのように感じますか。あてはまるものをそれぞれ 1 つだけお答えください。（それぞれひとつ）

➤ GH建設反対層は、総じて『そう思わない』と回答する割合が高い。（但し、n数僅少の為参考値）

※そう思わない計（「そう思わない」+「まったくそう思わない」）の数値を記載



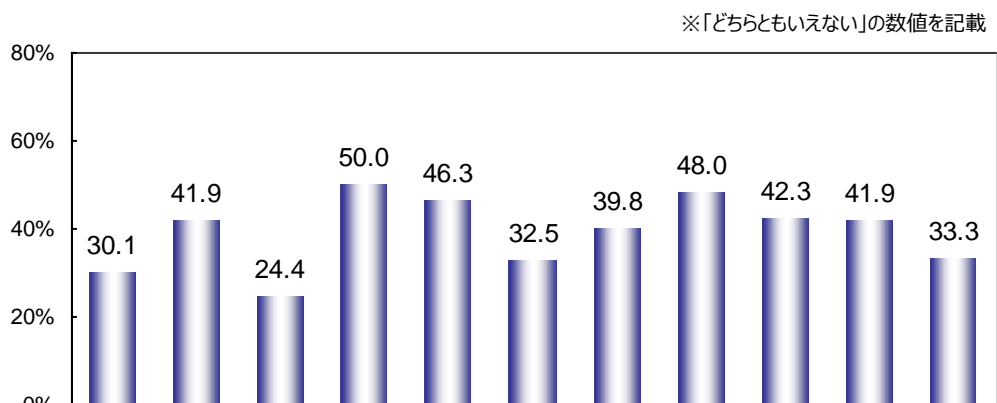
下段数表：  
■ 全体+10ポイント以上  
■ 全体-10ポイント以上

		n	18.7	44.3	11.8	30.9	39.0	9.3	40.7	15.0	35.4	35.8	51.2
全体		246	18.7	44.3	11.8	30.9	39.0	9.3	40.7	15.0	35.4	35.8	51.2
性別	男性	121	17.4	45.5	12.4	32.2	39.7	9.9	43.8	14.0	36.4	36.4	51.2
	女性	125	20.0	43.2	11.2	29.6	38.4	8.8	37.6	16.0	34.4	35.2	51.2
年代	20代	42	11.9	45.2	9.5	40.5	47.6	9.5	45.2	19.0	42.9	33.3	42.9
	30代	50	18.0	40.0	18.0	30.0	36.0	10.0	38.0	16.0	30.0	32.0	40.0
	40代	50	20.0	46.0	4.0	28.0	42.0	8.0	42.0	18.0	38.0	52.0	64.0
	50代	52	23.1	51.9	13.5	28.8	40.4	9.6	50.0	13.5	32.7	32.7	55.8
	60代	52	19.2	38.5	13.5	28.8	30.8	9.6	28.8	9.6	34.6	28.8	51.9
関与	あり	77	11.7	41.6	9.1	27.3	36.4	5.2	37.7	11.7	26.0	23.4	37.7
	なし	169	21.9	45.6	13.0	32.5	40.2	11.2	42.0	16.6	39.6	41.4	57.4
GH認知	認知	180	16.1	49.4	12.2	31.7	41.7	8.9	41.7	15.6	37.8	37.2	52.8
	非認知	66	25.8	30.3	10.6	28.8	31.8	10.6	37.9	13.6	28.8	31.8	47.0
GH建設	賛成	88	18.2	52.3	11.4	10.2	21.6	9.1	25.0	8.0	25.0	21.6	40.9
	反対	21	28.6	61.9	33.3	95.2	90.5	38.1	90.5	57.1	71.4	66.7	76.2
	どちらとも・わからない	137	17.5	36.5	8.8	34.3	42.3	5.1	43.1	13.1	36.5	40.1	54.0 (%)

# 12-4. 障害について（属性別 どちらともいえない）

Q15. あなたは、以下の項目についてどのように感じますか。あてはまるものをそれぞれ1つだけお答えください。（それぞれひとつ）

➤ GH非認知層や、GH建設どちらとも・わからない層は、総じて「どちらともいえない」と回答する傾向である。



下段数表：  
■ 全体+10ポイント以上  
■ 全体-10ポイント以上

		n	障害のある人を街中で見かける	きる障害環境を整って自由な生活	を選り好む場所	関わりがたいと思っている人	関連の施設物が参加したい	学校でも必要と感じる	ボランティア活動に関心がある	の地域の行事に参加してほしい	(職場の人等と話す機会がある、)	障害に関する法律や施策に	持病に関する情報源を
全体		246	30.1	41.9	24.4	50.0	46.3	32.5	39.8	48.0	42.3	41.9	33.3
性別	男性	121	34.7	42.1	27.3	49.6	48.8	38.0	38.8	50.4	41.3	42.1	33.9
	女性	125	25.6	41.6	21.6	50.4	44.0	27.2	40.8	45.6	43.2	41.6	32.8
年代	20代	42	31.0	40.5	33.3	28.6	33.3	31.0	23.8	42.9	33.3	33.3	28.6
	30代	50	26.0	40.0	36.0	46.0	40.0	38.0	40.0	44.0	44.0	38.0	40.0
	40代	50	34.0	46.0	30.0	64.0	58.0	38.0	56.0	52.0	44.0	34.0	24.0
	50代	52	25.0	38.5	17.3	55.8	44.2	30.8	30.8	55.8	46.2	48.1	34.6
	60代	52	34.6	44.2	7.7	51.9	53.8	25.0	46.2	44.2	42.3	53.8	38.5
関与	あり	77	26.0	35.1	26.0	42.9	39.0	31.2	33.8	42.9	32.5	33.8	28.6
	なし	169	32.0	45.0	23.7	53.3	49.7	33.1	42.6	50.3	46.7	45.6	35.5
GH認知	認知	180	28.9	36.1	17.2	46.7	41.1	26.1	36.7	41.7	37.8	38.3	29.4
	非認知	66	33.3	57.6	43.9	59.1	60.6	50.0	48.5	65.2	54.5	51.5	43.9
GH建設	賛成	88	22.7	21.6	5.7	51.1	50.0	13.6	40.9	26.1	33.0	43.2	34.1
	反対	21	19.0	28.6	33.3	4.8	9.5	38.1	9.5	42.9	23.8	23.8	19.0
	どちらとも・わからない	137	36.5	56.9	35.0	56.2	49.6	43.8	43.8	62.8	51.1	43.8	35.0

# 付. 調査票

---

あなたご自身に関するお問い合わせ

次へ

## 注意事項

回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。  
回答は、各ページ80分以内に行ってください。  
JavaScriptおよびCookieを有効にしてください。

## 推奨ブラウザ

Microsoft Internet Explorer 11  
Firefox 14.0以降  
Google Chrome 21.0以降

## 推奨OS

Windows Vista  
Windows 7  
Windows 8

-----< 改ページ >-----

以下は登録いただいている内容となります。  
登録内容と相違ない場合は変更いただき、そのまま次へお進みください。  
※こちらの回答内容は登録情報へ反映されませんのでご了承ください。

F1. あなたの性別をお知らせください。 【必須】

- 男性  
 女性

-----< 改ページ >-----

以下は登録いただいている内容となります。  
登録内容と相違ない場合は変更いただき、そのまま次へお進みください。  
※こちらの回答内容は登録情報へ反映されませんのでご了承ください。

F2. あなたの年齢をお知らせください。 【必須】

- 14歳以下  
 15～19歳  
 20～29歳  
 30～39歳  
 40～49歳  
 50～59歳  
 60～69歳  
 70歳以上

-----< 改ページ >-----

以下は登録いただいている内容となります。  
登録内容と相違ない場合は変更いただき、そのまま次へお進みください。  
※こちらの回答内容は登録情報へ反映されませんのでご了承ください。

F3. あなたのお住まいの都道府県をお知らせください。 【必須】

選択して下さい

-----< 改ページ >-----

【条件】  
F3でF22. 静岡県』いづれかを選択した方のみ

Q1. あなたのお住まいの市や町名をお知らせください。(ひとつ) 【必須】

【西部地域】 【中部地域】 【東部地域】 【加茂地域】

- 浜松市  静岡市  沼津市  下田市  
 磐田市  島田市  熱海市  東伊豆町  
 掛川市  焼津市  三島市  岡津町  
 森井市  森田市  富士宮市  東伊豆町  
 湖西市  牧之原市  伊東市  松崎町  
 御前崎市  吉田町  富士市  西伊豆町  
 葵川市  川根本町  御殿場市  
 森町  裾野市  
 伊豆市  
 伊豆の国市  
 田南町  
 清水町  
 長泉町  
 小山町

02. あなたの職業をお知らせください。(ひとつ) 【必須】

- 公務員
- 経営者・役員
- 会社員
- 自営業
- 自由業
- 専業主婦
- パート・アルバイト
- 学生
- その他

-----<改ページ>-----

03. あなたの身近に障害のある方はいませんか(はい/いいえ)。(いくつでも) 【必須】

※本アンケートにおける障害の表記につきまして、「障害」、「障病」、「障がい」等ありますが、「障害」と統一したことをご了承ください。

- 自分自身
- 家族等身近な親類
- 学校
- 職場
- 仕事関係
- 身近所
- 趣味等の活動
- ボランティア等の活動
- その他
- 身近にいたことはない

-----<改ページ>-----

**【条件】**  
Q3で『1.自分自身』『9.その他』いずれかを選択した方のみ

04. はい、あなたの身近にいる(いた)方の障害の種類・タイプをお知らせください。(いくつでも) 【必須】

- 身体障害
- 知的障害
- 精神障害
- その他

-----<改ページ>-----

05. あなたは、「知的障害者」に対してどのようなイメージをお持ちですか。どのようなことでも結構です。ご自由にお答えください。 【必須】

-----<改ページ>-----

06. はい、あなたは、「知的障害者」に対してどのようなイメージをお持ちですか。あてはまるものを全てお答えください。(いくつでも) 【必須】

- |                                    |  |
|------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 優しい       | <input type="checkbox"/> 怖い  |
| <input type="checkbox"/> おもしろい     | <input type="checkbox"/> 何を考えているかわからない                                 |
| <input type="checkbox"/> 陽気な       | <input type="checkbox"/> コミュニケーションが取れない                                |
| <input type="checkbox"/> 芸術的       | <input type="checkbox"/> 仕事ができない                                       |
| <input type="checkbox"/> 力持ち       | <input type="checkbox"/> 不自由なことを抱えている                                  |
| <input type="checkbox"/> 柔軟な       | <input type="checkbox"/> 周りの人に合わせるができない                                |
| <input type="checkbox"/> 障害者と変わらない | <input type="checkbox"/> 汚い  |
| <input type="checkbox"/> 社会的       | <input type="checkbox"/> うるさい  |
| <input type="checkbox"/> 記憶力がいい    | <input type="checkbox"/> 不幸な   |
| <input type="checkbox"/> 才能がある     | <input type="checkbox"/> 暗い  |
| <input type="checkbox"/> かわいらしい    | <input type="checkbox"/> 気持ち悪い   |
| <input type="checkbox"/> 集中力がある    | <input type="checkbox"/> 臭の毒   |
| <input type="checkbox"/> 確信的       |  |
| <input type="checkbox"/> 軽率な       | <input type="checkbox"/> その他 <input style="width: 60px;" type="text"/> |

-----<改ページ>-----

**【条件】**  
Q6で『15.怖い』いずれかを選択した方のみ

07. 前問で【怖い】を選択した方にお伺いします。 【必須】

あなたが、「知的障害者」を【怖い】と思う理由について、あてはまるものを全てお答えください。(いくつでも)

- 大声を出す恐れがあるから
- 他人に危害を加える恐れがあるから
- 自分自身を傷つける(自傷行為がある)恐れがあるから
- 性犯罪を犯す恐れがあるから
- 方引き等の軽犯罪を犯す恐れがあるから
- 重大な事件や犯罪を引き起こす恐れがあるから
- 何を考えているかわからないから
- 障害者と容姿が異なるから
- その他

Q8. あなたは、「グループホーム」を知っていますか。 【必須】

- どのようなものか知っている
- 名前だけ聞いたことがある
- 知らない

-----<改ページ>-----

【条件】  
Q8で『1. どのようなものか知っている』～『2. 名前だけ聞いたことがある』 いずれかを選択した方のみ

Q9. 「グループホーム」を知っているとお答えの方にお伺いします。  
あなたが存じのグループホームをお知らせください。(いくつでも) 【必須】

- 身体障害のある方が住んでいるグループホーム
- 知的障害のある方が住んでいるグループホーム
- 精神障害のある方が住んでいるグループホーム
- 高齢者が住んでいるグループホーム
- その他

-----<改ページ>-----

【条件】  
Q8で『1. どのようなものか知っている』～『2. 名前だけ聞いたことがある』 いずれかを選択した方のみ

Q10. 「グループホーム」を知っているとお答えの方にお伺いします。  
あなたは、「グループホーム」に対してどのようなイメージをお持ちですか。  
どのようなことでも結構ですのでご自由にお答えください。 【必須】

-----<改ページ>-----

【条件】  
Q8で『1. どのようなものか知っている』～『2. 名前だけ聞いたことがある』 いずれかを選択した方のみ

Q11. 「グループホーム」を知っているとお答えの方にお伺いします。  
あなたが住んでいる(住んでいた)近くに  
「グループホーム」はありますか(ありましたか)。 【必須】  
(ひとつ)

- ある
- ない
- わからない

-----<改ページ>-----

## グループホームとは

・グループホームは、障害のある方が地域の中で家庭的な雰囲気の下、  
共同生活を行う住まいの場です。

・1つの住居の利用者数の平均は5名程度です。

### 具体的な利用者像

・単身での生活は不安があるため、  
一定の支援を受けながら地域の中  
で暮らしたい方  
・一定の介護が必要であるが、施設  
ではなく、地域の中で暮らしたい方  
・施設を退所して、地域生活へ移行  
したいがいそりの単身生活には  
不安がある方 など

### 具体的な支援内容

・相談、入浴、排溺または食事の介  
護、その他の日常生活上の援助を  
行います。



・住宅地に立地  
・入居定員は原則10名以下

※資料は参考。障害者の地域生活の促進に関する法律(障害者福祉法)第10条に基づき作成。

Q12. この回をよくお読みになってからお答えください。  
あなたはこの図のような 【必須】

知的障害のある方が住む「グループホーム」に対して、

どのようなイメージをお持ちですか。あてはまるものを全てお答えください。  
(いくつでも)

- 自由な
- 楽しい
- 賑やか
- 落ち着いた
- ご近所付き合いがある
- 安全な
- 自立している
- 清潔な
- 市街地にある
- 開放的な
- 明るい
- 家族等が気軽に来られる

その他

## グループホームとは

- ・グループホームは、障害のある方が地域の中で家庭的な雰囲気の下、共同生活を行う住まいの場です。
- ・1つの住居の利用者数の平均は5名程度です。

### 具体的な利用者像

・単身での生活は不安があるため、一定の支援を受けながら地域の中で暮らしたい方  
 ・一定の介護が必要であるが、施設ではなく、地域の中で暮らしたい方  
 ・施設を退所して、地域生活へ移行したいがいきなりの単身生活には不安がある方 など

### 具体的な支援内容

・相談、入浴、排泄または食事の介護、その他の日常生活上の援助を行います。



- ・住宅地に立地
- ・入居定員は原則10名以下

\*厚生労働省「障害者の地域生活の促進に関する法律(障害者福祉法)第26条(1)第2項、7第1項

Q13. では、あなたが現在住んでいる近くに、  
 この図のような**知的障害のある方が住む** [必須]  
 「グループホーム」が建設されるとしたらどのように感じますか。(ひとつ)

- とても賛成する
- 賛成する
- どちらともいえない
- 反対する
- とても反対する
- わからない

Q14. そのようにお答えになった理由を、どのようなことでも結構ですので自由にお答えください。 [必須]

.....<改ページ>.....

### 障害についてお聞きします

Q15. あなたは、以下の項目についてどのように感じますか。  
 あてはまるものをそれぞれ1つだけお答えください。 [必須]

	とても思わない	思わない	どちらでもない	思う	とても思う
障害のある人を街中で見かける	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
障害のある人でも自由に生活できる環境が整っていると思う	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
障害を持っていても、住む場所を選択する自由があると思う	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
機会があれば障害のある人と関わりたいと思っている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
市や施設等が開催する障害者関連の催し物に参加したい	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学校でもっと障害について教える必要性を感じる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ボランティア活動に関心がある	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
障害のある人も祭りや運動会等の地域の行事に参加してほしい	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
障害について、家族や友人、職場の人等と話すことがある(話してみたい)	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
障害に関する法律や施設に関心がある	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
障害に関する情報源を持っている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

.....<改ページ>.....